

1. 大学名／ご担当者名／電話	九州歯科大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>①歯科医療従事者の派遣 日本歯科医学会等より遺体の身元確認のための協力依頼があり、7名を登録して、派遣要請があれば、対応する態勢である。 なお、現時点では、派遣無し。</p> <p>②災害支援物資の送付 東北大学歯学部より、歯科医療材料・器具の支援要請があり、送付した。</p>
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容></p> <p>①歯科医療従事者の派遣 引き続き、派遣要請があれば、対応する態勢である。</p> <p>②災害支援物資の送付 今後も、歯科医療材料等について、支援要請があれば対応する。</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	福岡県立大学
2. 実施主体（センター名）	社会貢献・ボランティア支援センター
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>① 救援物資の収集と仕分け作業 4名 （田川市青年会議所OBと連携しました。）</p> <p>② 義援金の街頭募金活動 16名 （まつり I N田川実行委員会と連携しました。）</p>
5. 今後、予定している活動内容	
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	北九州市立大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>○募金活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 卒業式、入学式において学生ボランティアを中心に募金活動を行った。また、キャンパス内に募金箱を設置した。 6月15日に集まった募金（643,041円）を日本赤十字社へ送金。引き続き募金活動を継続している。 <p>○東日本大震災関連プロジェクト</p> <p>本学附属施設である地域共生教育センターにおいて「東日本大震災関連プロジェクト」を立ち上げ、以下の活動を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 被災地からの避難者向けイベントの開催 本市に避難してきている被災者が本学学生と交流しながら本市を知り楽しんでもらうために市内の観光地等に無料招待するイベントを開催した。 ・スペースワールド（テーマパーク） 7/24実施 (参加者：7世帯28名、学生ボランティア：15名) 小学生応援うちわの製作 本市の小学生が被災者へのメッセージやイラストを書いたうちわを被災地に送付した。 (送付先：釜石市 317部、南三陸町 500部) イベント等での義援金集め（チャリティーフリーマーケットなど） ・義援金 71,781円
5. 今後、予定している活動内容	<p>○東日本大震災関連プロジェクト</p> <ol style="list-style-type: none"> 被災地からの避難者向けイベントの開催 ・到津の森公園（動物園） 8/20実施予定 ・その他、本学大学祭及びその他の観光地等にも招待する予定。 現地派遣（被災地での支援活動） ・9月中旬に宮城県南三陸町で活動予定。 ・派遣人数は18名。
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む） 又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合 （特に被災地の大学について）	

1. 大学名	長崎県立大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	別紙の通り
5. 今後、予定している活動内容	別紙の通り
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

■東北地方大震災に伴う被災学生の支援について

大学の取組み

1. 一般入試後期試験（追試）試験状況

経済学部・・・受験者3名（長崎）	→	合格者0名
国際情報学部・・・受験者2名（福岡、佐賀）	→	合格者2名
看護栄養学部・・・受験者1名（長崎）	→	合格者1名
<hr/>		
計		受験者6名 → 合格者3名

2. 入学手続き期間の延長

一般入試前期試験合格者のうち、被災地の者に対し入学手続き期間を延長。

（3月15日締切 → 3月17日到着1件受理）

3. 科目等履修生の受入れ

被災した学生を科目等履修生として受入れ、聴講料を減免し、在籍する大学の卒業単位とすることができる。

（実績なし）

4. 授業料減免制度の特例

被災により生活困窮状態となったことを理由に修学を断念することがないよう、成績要件や経済要件を緩和し、授業料減免の特例を設ける。

（対象者3名）

学生の取組み

1. 募金活動

卒業式・入学式、商店街アーケードにおいて街頭募金活動を実施。

2. ボランティア活動

佐世保市や長与町が実施した支援物資の受付・仕分け作業へ参加。

3. 学食や生協での復興支援

被災地にちなんだメニューや飲料水の販売を通して、売上の一部を被災者救済のための義援金とする。

1. 大学名	大分県立看護科学大学
2. 実施主体（センター名）	大分県立看護科学大学
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>①学生による募金活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/14～31 大学に募金箱を設置し、日本赤十字社へ送金。153,695円 ・救援物資を集め、大分県庁等を通じて被災地へ搬送 <p>救援物資については、学生、教員はもとより、地域の方々等多くの方から本学に寄せられた。（タオル 約3,000枚、紙おむつ、ナプキン 約7,000枚 使い捨てカイロ 約1,000個、マスク 2,000枚 他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者の子ども達へ、てんとう虫のお守りを送付 <p>フェルトでテントウムシのお守り、365個を作成。</p> <p>制作にあたり、ケアリングアイランド加入大学や地域の方々にも協力を頂いた。</p> <p>配付については、現地に派遣した医療関係者を通じ、現地の子ども達、医療スタッフに配付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/15、16に行われた学園祭にチャリティーイベント行い、義援金として、日本赤十字社へ送金。554,548円 <p>②東日本大震災に伴う原発事故からの放射線問題について、災害支援に従事する看護職の皆さん、一般の皆さんの質問や心配に答えるメール相談とWeb情報発信。</p> <p>③被災者への就学支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別編入学による学生の受入（実績 なし） ・科目等履修生の受入（実績 なし） <p><活動実績と自治体との連携・協力関係></p> <p>①震災前からの連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立団体である大分県とは常に連携・協力体制を整えている。 ・大分市と包括連携協定を締結。 ・大分県、市町村開催の研修会に講師として参加。 <p>②現在の連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県、市町村開催の放射能関係の研修会に講師として参加。 ・放射線に関する相談対応。 <p><その他の機関との連携・協力関係></p> <p>①震災前からの連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の研修会に講師として参加。 <p>②現在の連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の放射能関係の研修会に講師として参加。 ・放射線に関する相談対応
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ①今後、状況に応じて募金活動を行う。 ②引き続き、東日本大震災に伴う原発事故からの放射線問題について、災害支援に従事する看護職の皆さん、一般の皆さんの質問や心配に答えるメール相談とWeb情報発信。 ②放射能関係の研修会等に講師として参加。 ③放射線に関する相談対応 <p><活動内容と自治体との今後予定されている連携・協力関係></p>

	<p>①今後の連携・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射能関係の研修会等に要請があれば講師として参加 ・放射線に関する相談対応 <p><その他の機関との連携・協力関係></p> <p>①今後の連携・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射能関係の研修会等に要請があれば講師として参加 ・放射線に関する相談対応
<p>6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）</p>	

1. 大学名	宮崎県立看護大学
2. 実施主体（センター名）	宮崎県
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>① 岩手県宮古市へ教員（保健師）を派遣（6泊7日） 派遣人数 教員2人 ・宮古保健所管内の住民の戸別訪問、避難施設における健康相談活動等</p> <p>② 宮城県山元町へ職員を派遣（10泊11日） 派遣人数 職員2人 ・宮城県山元町の各避難所等において支援活動等（支援物資の仕分け・発送等、罹災証明の発行や仮設住宅入居申込受付等）</p> <p><活動実績と自治体との連携・協力関係></p> <p>② 現在の連携の状況・協力体制 ・宮崎県から要請があれば、派遣する予定である。</p>
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容></p> <p>① 宮崎県立看護大学単独で活動を行う予定はないが、宮崎県から要請があれば、宮崎県と同じ活動（被災地へ教員（保健師活動）や職員（総合窓口業務、各種申請受付・審査業務等）の派遣）を行う予定である。</p> <p><活動内容と自治体との今後予定されている連携・協力関係></p> <p>① 今後の連携・協力体制 ・宮崎県から要請があれば、宮崎県と同じ活動（被災地へ教員（保健師活動）や職員（総合窓口業務、各種申請受付・審査業務等）の派遣）を行う予定である。</p> <p><その他の機関との連携・協力関係> 行う予定はない。</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名／ご担当者名／電話	沖縄県立看護大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	ケアリングアイランド九州沖縄コンソーシアム ※活動実績①に関する取組みとして
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>①14 連携大学の教職員から義援金を募り、日本赤十字九州国際看護大学を通じて被災地に寄附。 義援金総額 316,437 円（うち沖縄県立看護大学 52,483 円）</p> <p>②沖縄県立看護大学教職員から義援金を募り、卒業生が看護師として勤務する岩手県宮古市に寄附。 義援金総額 60,529 円（8月3日現在。）</p> <p>③講演会収入の一部を日本赤十字社を通じて被災地に寄附。 寄附総額 239,109 円</p>
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容></p> <p>教員用図書を被災地へ譲与する活動を予定。</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	